

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【公開番号】特開2015-30161(P2015-30161A)

【公開日】平成27年2月16日(2015.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-010

【出願番号】特願2013-160337(P2013-160337)

【国際特許分類】

B 4 1 J 11/08 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 11/08

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月29日(2016.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録ヘッドと、

前記記録ヘッドによる記録領域において被記録媒体を支持面で支持する媒体支持部と、
前記媒体支持部が、前記支持面と交差する方向に付勢されつつ、該支持面に沿う方向に
該媒体支持部が移動可能な状態で取り付けられる基体部と、を備えることを特徴とする記
録装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の記録装置において、

前記被記録媒体を搬送する搬送機構を備え、

前記基体部は、前記被記録媒体の搬送方向と交差する方向に前記媒体支持部が移動可能
な状態で該媒体支持部が取り付けられることを特徴とする記録装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の記録装置において、

前記基体部には、前記支持面と交差する方向のうちの前記媒体支持部が前記記録ヘッド
に近づく方向に前記媒体支持部が移動するのを規制する規制部が設けられ、

前記媒体支持部は、前記規制部に向けて付勢されていることを特徴とする記録装置。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の記録装置において、

前記媒体支持部は導電性樹脂を含有し、前記基体部は導電性樹脂を含有しないことを特
徴とする記録装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の記録装置において、

前記媒体支持部は前記導電性樹脂を含有する A B S 樹脂で構成され、前記基体部は導電
性樹脂を含有しない A B S 樹脂で構成されることを特徴とする記録装置。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の記録装置において、

前記媒体支持部の端部は前記基体部に移動可能な状態で取り付けられるとともに、該媒

体支持部は前記端部から離れた位置において該基体部に位置決めされていることを特徴とする記録装置。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の記録装置において、

前記媒体支持部は、前記媒体支持部の下方に形成される弾性部材において、前記媒体支持面と交差する方向に付勢されることを特徴とする記録装置。

【請求項 8】

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の記録装置において、

前記基体部による前記媒体支持部の取り付け部には、該媒体支持部をネジ頭と該基体部とで挟んだ状態で該媒体支持部を該基体部に取り付けるネジが設けられ、

前記媒体支持部の前記ネジの軸を通す穴は、前記支持面に沿う方向に前記媒体支持部が移動可能な大きさに設けられ、

前記ネジ頭と前記媒体支持部の間に摩擦軽減部材が設けられていることを特徴とする記録装置。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の記録装置において、

前記弾性部材は、前記媒体支持部を前記ネジに向けて付勢することを特徴とする記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

湿度等の環境変化に伴う媒体支持部 6 の体積変化は、支持面 7 と交差する方向においては、媒体支持部 6 の厚さ方向になるため、小さい。媒体支持部 6 の長手方向（方向 B）等の長さ比べて媒体支持部 6 の厚さ方向の長さはずっと短いためである。このため、例えば、媒体支持部 6 を基体部 5 に付勢する構成のように、媒体支持部 6 を記録ヘッド 2 から離す方向に付勢する場合であっても P G が変化することを抑制できる。湿度等の環境変化に伴って媒体支持部 6 が体積変化を生じた場合であっても媒体支持部 6 の厚さ方向の変化量はとても小さく、該付勢により P G の変化量は媒体支持部 6 の厚さ方向の変化量にすぎなくなるためである。したがって、そのような構成であってもよい。

しかしながら、本実施例の記録装置 1 は、媒体支持部 6 をネジ頭 19a に向けて付勢することによって、媒体支持部 6 を記録ヘッド 2 に近づく方向に付勢する。つまり、媒体支持部 6 は、規制部に向けて付勢されることで、媒体支持部 6 が記録ヘッド 2 に近づく方向に移動することが抑制される。このため、一層、湿度等の環境変化に伴う媒体支持部の体積変化により P G が変化することを抑制できる構成になっている。